2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	入居者の単身での外出を防ぐため、玄関の施錠については家族から同意を得ているものの、今後は身体拘束をしないケアを実践するためにも、玄関の開放を考えていく必要がある。	入居者の安全を考慮しながら、玄関を開放できるよう検討していく。	入居者の行動パターンを理解し、一定の時間帯、玄関を開放できるようにしていく。	12か月
2	35	災害時に備えた食料、飲料水が1日分程度の備蓄である。また、寒さをしのぐための物品等の備蓄も必要がある。	非常食、飲料水、備品等を数日分、用意する。	非常食や飲料水を3日分程度準備する他、寒さ対策の備品等も準備していく。	12か月
3					か月
4					か月
5					か月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。